

---

---

公益社団法人日本交通政策研究会

東京モーターショー・シンポジウム 2019  
世界と日本のロードプライシング

---

---

令和元年9月

拝啓 毎々格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当研究会は、交通政策、交通経済等関連する諸問題を中心に時宜適ったテーマよりシンポジウムを開催することにしております。

クルマを取り巻く環境が大きく変化する中で、道路の使用に対して料金を徴収するロードプライシングはクルマの使い方によどのような影響を及ぼしていくのでしょうか。

世界の多くの国で道路混雑緩和などを目的としてロードプライシングが実施されており、わが国でも 2020 年東京オリ・パラ開催時には首都高での導入が計画されています。

本シンポジウムでは、世界のロードプライシングの事例をレビューすると共に、その経済効果、合意形成のための条件などについて議論したいと思います。

今般、第 46 回東京モーターショー2019 開催期間中、東京モーターショー・シンポジウム 2019 が開催されますが、その中で「世界と日本のロードプライシング」と題して、ロードプライシングについて考える場を設けました。ふるってご参加賜りたくご案内申し上げます。 敬具

1. 開催日時 令和元年 10 月 28 日（月） 15:00～17:00

2. 開催場所 東京ビッグサイト 会議棟 6F 609 会議室  
<https://www.tokyo-motorshow.com/access/>  
この会議棟は東京モーターショーの会場と隣接していますが、モーターショー入場券なしで入れます。

3. 実施者 公益社団法人日本交通政策研究会

4. 参加費 無料

5. お申し込み

会場の入場者数には限りがございますので、おそれいりますが、当研究会ホームページ <http://www.nikkoken.or.jp/> から 10 月 23 日までにお申込みください。

6. 定員 70 名に達しましたら、締め切らせて頂きます。

## 7. プログラム

- 15:00~15:05 開会挨拶 金本良嗣（日本交通政策研究会代表理事）  
シンポジウムの狙い 根本敏則（敬愛大学）
- 15:05~15:20 プレゼン 1 世界のロードプライシング  
～ロンドン、ストックホルム、ニューヨーク～  
野口直志（西日本高速道路ファシリティズ株式会社）
- 15:20~15:35 プレゼン 2 混雑課金からスマートシティへ～シンガポール ERP2～  
早川祥史（三菱重工機械システム株式会社）
- 15:35~15:50 プレゼン 3 東京オリ・パラ開催時の首都高の追加対策  
水野宏治（国土交通省道路局企画課評価室）
- 15:50~16:05 プレゼン 4 ロードプライシングの経済効果  
田邊勝巳（慶応義塾大学）
- 16:05~16:20 プレゼン 5 ロードプライシングの法的枠組～欧州、アメリカ～  
今西芳一（株式会社公共計画研究所）
- 16:20~17:00 全体討論、質疑応答
- コーディネーター 根本敏則（前出）
- パネリスト 野口直志（前出）
- 同上 早川祥史（前出）
- 同上 水野宏治（前出）
- 同上 田邊勝巳（前出）
- 同上 今西芳一（前出）

※プログラムは予告なく変更される場合があります

お問い合わせ先

公益社団法人日本交通政策研究会 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-6 守住ビル4階

TEL : 03-3263-1945 E-mail : office@nikkoken.or.jp

FAX : 03-3234-4593 Website : <http://www.nikkoken.or.jp/>